

Customization for **Japanese** by the Japanese



専門スタッフは、通常の整備技術はさらへん、カスタム車に重要な整備にも携わっている。万が一、急に見て欲しい時にも、遠くから対応してくれるのは安心。

中古、新車の購入も、希望のカスタムも徹底的にサポート

店頭でジープを展示、メインはやはりJKラングラー。ノーマルな車両が目立つが、これらは素材と書いている。思い思いのアフターパーツを選び、リフトアップの加減、ボディカラーを考え、自分好みのスタイリングで仕上げるベースになる。AXのデモカー、HPにも挙げられている様々な手法を見れば、ここでできるカスタムの、限らない可能性を感じることが出来るはずだ。そしてカスタム初心者こそ、ここはオススメ。知識なんてなくていい(出来れば本誌で気に入った頁を覚えてくれば、話は早くなるけれど)、ショールームで寛いで、予算と理想の形のイメージを、スタッフ相手に話すだけ。中古、新車の購入も、希望のカスタムに最適なパーツも、整備や作業の内容も、わかりやすく示してくれる。それでも気になる点、わからないことがあれば、全て訊いてみればいい。AXは全力でサポート、完成形をクリアしてみせてくれるのだ。田るとすれば、選択肢の多さかも。名だたるブランドのパーツが装着されたアンリミテッドの新車コンプリートカー。カッコいい完成形が、低価格もお得で魅力的。とことん迷っても大丈夫、AXはとことん付き合ってくれるから。お気に入りの1台を手にした後も、自社整備工場でも、点検・整備の一切を任せられる。

09
AX
アクセス

- 住所：愛知県名古屋市中区瑞穂区下沙田131-1
- 電話：052-626-5031
- HP：<http://www.ax-net.jp>
- 営業時間：10:00-20:00
- 定休日：日曜日



一際目立つ大きなオレンジ色の看板がAXの目印に、店頭には、新車・中古車・カスタム車がズラリと並び、ミュージアムのような気持ちのよい空間が演出された店内には、同社が手掛けたコンプリートカーや中古車の中でも「レア」と言えるような極上車が展示されたりする。



スタイルとサウンド性能面も満足度高し!

ステンレス製で、左右W出しのレイアウトを採用したAXのオリジナルステンレスマフラー。エンド部分は円形のテーパ形状を採用しており、トップ部分にはAXのロゴが入る。加えて、ステー部分もステンレスで構成されているので、品質の高さを感じさせてくれる。もちろん車検にも適合しているので、安心してカスタムを楽しめる。特にリアバンパーを交換した場合、中央のタイヤ部分が丸見えになる。そこにステンレスの美しい光沢が見えるので、機能やサウンドに加え、視覚的にも楽しめる。まさに三拍子揃った満足度の高いアイテムだ。



本気のおローダーにこそぜひお勧めしたい逸品!

ゲンライト フロントバンパー。近頃人気沸騰中のスティンガーバンパー。本体は非常にコンパクトだが、ウインチが搭載可能な形状と強度を採用している。牽引フックも左右に備わっており、見た目だけではなく実際の使用も考慮された形状と言えよう。実際に前転を防止する使い方をする人は少ないと思うが、非常にアグレッシブなスタイルを約束してくれる。



AICHI AX アックス

住所：愛知県名古屋市中区鶴舞町下沙田131-1
電話：0900-400-3968
HP：<http://www.ax-net.jp/>
営業時間：10:00-20:00
定休日：日曜日



様々な製品を組み合わせ無限の形を造る

アメリカンスタイルそのもの!
言うべきカスタムを得意とするAX。現在のオリジナルパーツはマフラーのみで、その他はUS製のパーツを中心に構成する。どこか一社にこだわるのではなく、まさに適材適所でパーツをセレクトしており、組み合わせ次第で無限の可能性を秘めているとも言えよう。その経験を活かし、ユーザーの要望にジャストフィットするアイテムを提案してくれると言えよう。

ちなみにAXでは、今様々なオリジナルパーツの販売を計画しているとの事。アメリカンスタイルを熟知した上で生み出される日本発のオリジナルパーツ。これとUSパーツを組み合わせた新しいカスタムスタイルは、至極無しの期待させられる。今後のAXにも注目したい。

ワンアクションでテールゲートの開閉が可能!

ボイズンスパイダーの背面キャリア。純正のキャリアはテールゲートを開ける時にタイヤキャリアと別々に操作する必要がある。だが、ボイズンスパイダーのキャリアは、ヒンジ構造を採用していることで、ワンアクションでテールゲートが開閉可能。スタイリングだけでなく、実用性を向上させるアイテムもAXでは数多く取り扱っている。

Jeepに秘められた走りの機能を向上させる!

ボイズンスパイダーリアバンパー。スベアタイヤキャリアと組み合わせ使用できるバンパーだ。オフロードでヒットしにくい形状を採用するだけでなく、中央部分を下げることによって大径タイヤをスベアタイヤキャリアにマウントしても干渉しない。加えて、ステップ的な使い方もできるように考慮されているので、あらゆるシーンでその恩恵を受けられる。

03 AX アックス

<http://www.ax-net.jp/>

最新のカスタムをいち早く取り入れる!

Jeepカスタマイズといえばアメリカが本場
その空気感を感じさせるカスタムを得意とするのAXだ。
しかし、ただインパクトのあるスタイルを追求するのではなく使い勝手に重きが置かれている

カスタマイズのお手本のような一台

アメリカのSEMAショーで目にするような、スポーティ一感とワイルドさを融合させたJKワグナー。アメ車を中心に、カスタムや車両の販売を行ってきたAXが盛り上げたもので、まさにアメリカンスタイルを再現したかのような仕上がりが、足踏りはBDSのキットを中心に6インチのリフトアップを実施。組み合わせるショックはFOXで、ノーマルよりも重い38インチタイヤを装着していても安定感のある乗り味を実現している。フェンダーは、ワイドかつハイトのあるタイヤを包み込むために取入れシムレットを削し、ジープのオリジンを彷彿とさせるフラットフェンダーに交換。ボディと同色にすることで広がりも強調させている。前後バンパーは最近の定番と言えどスチールタイプに変更。そして最大の特徴と言えるのが、ワイルドボアのファストバックトップを装着し、スピード感を感じさせるスタイリングを実現していることだ。その全体像をさらに引き立てるのが、統一されたカラーリング。これぞ、カスタマイズのお手本と言えよう。

- ベース車両:JKワグナー SPEC
- 足回り:BDS ステアリングダンパー/FOX ショックアブソーバー/BDS 前後ロングアーム/BDS 6インチリフトアップコイル
- エクステリア:フラッシュワーカー フラットフェンダー/ゲンライト ステインガー パンパー/WARN VR8000-S/MOTOMETAL MOGGELACK with Red Inserts/INTERCO トルクサスSTS (38x15.5R18)/n-tab ナーフバー/XENON ワイドフラットフェンダー/ワイルドボア Fastback Top/TRC LEDテール/AX オリジナルマフラー/ボイスブーストバイザーリアバンパー&音響タイヤキャリア/リジッドインダストリー ビューライトバー&LEDランプ/AEV ヒートリダクションフード/SPEAKER LEDヘッドライト
- インテリア:Dolly シートカバー/ラギッドリッジ インテリアパネル



本誌「AX」の掲載車両は、すべてAXが手がけたカスタム車です。



ボディカラーに合わせて、インテリアもレッドとブラックに変更。シートカバーは定番かもしれないが、ラギッドリッジのインテリアパネルと組み合わせると、華やかさが一層引き立ってくる。



BDSのキットを使用して、車高は6インチリフト。ロングアームにすることで、ホイールベースが短くなるのを解消しつつ、アライメントの補正も行なっている。タイヤは珍しい38インチをチョイス。



手もとに届いたその日からカスタムライフが始まる!

デモカーはカッコいいけど、もう少し落ち着いた仕様が欲しい...。そんなユーザーのためAXでは、新車をベースにしたコンパクトカーも販売中。若干車高を上げて、タイヤサイズは285/70R17に変更。フラッシュワーカーのオーバークラウドやラギッドリッジのバンパーを装着し、ワイルドさを強調させている。もちろん乗り心地も重視しており、高圧ガスショックのルビコンエクスペスをチョイス。形だけでなく走りも追求している。

